



秋田ファンとしての 想い

[秋田市観光クチコミ大使]

株式会社ミライト

執行役員 ソリューション事業本部 ICTソリューション営業本部長

窪田和樹氏

2015年6月から3年間、前職であるNTT東日本秋田支店長として秋田に勤務いたしました。在勤中は、秋田商工会議所の会員企業の皆様、役職員の方々から公私共に沢山のお力添えをいただき、ありがとうございました。改めて御礼を申し上げます。

秋田の思い出・魅力

秋田では、竿燈まつりを始めとする様々なお祭り、大曲の花火大会、各種の地域イベントに参加させていただきました。いずれも美しさと力強さを兼ね備えた素晴らしい文化だと思います。

また、私は妻と共に秋田に赴任したため、夫婦で数多くの観光資源や食文化も堪能させていただきました。東京に住んで3年経った今でも秋田の素晴らしさを度々思い出し、日本酒は秋田の日本酒にこだわり、食材も秋田産の物を選んで購入し、秋田のアンテナショップにも何度も行き、名産品を購入しています。

秋田在住時にある企業の方から「秋田に転勤して来て離れた人で秋田を悪く言う人はいない」というお話をお聞きしました。今離れて考えてみると、本当にその通りだと実感しています。

秋田が好かれるのは、自然や食など様々な要素がありますが、私は最も大きな要因は秋田県民の人柄だと感じています。

コロナをチャンスと捉えて

コロナによって社会全体は大きな打撃を受けていますが、悪いことばかりではなく、中々進まなかったリモートワークを始めとする新方式・新技術の導入が一気に進展しました。秋田にとっても距離という

ハンディを克服する良い機会になると思っています。

また、昨今カーボンニュートラルへの注目が高まっており、ESG投資等の大きな波も来ています。これは、どの企業、組織も取り組まなければならない喫緊の課題であり、その対応には既存の業界の垣根を超えた融合的な対応が求められています。私は現在、株式会社ミライトという通信建設会社でICT系の営業本部長をしていますが、効果的なビジネス展開にはESG分野への対応が必要になってきているのを日々実感しています。

私は在勤中、秋田は高齢化や、人口減少などの課題先進県であるため、秋田が日本をリードし、課題を解決するべきだと何度も話をしてきました。コロナ対応という未来に向けた取り組みを加速させる刺激が加わった今こそ、秋田の皆様が既成概念にとらわれることなく、新たなチャレンジを行って欲しいと願っています。秋田にはそれに必要な素晴らしい資源とポテンシャル、何よりも魅力的な人間性があると確信しています。微力ながら私も秋田ファンとして、今後も秋田の発展に寄与していきたいと考えております。

結びになりますが、秋田商工会議所、会員の皆様のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

■略歴

- 1965年 山梨県生まれ
- 1988年 日本電信電話株式会社入社
- 1999年 東日本電信電話株式会社
- 2015年 同社 秋田支店長
- 2018年 株式会社ミライト入社
- 2021年 現職

■事業内容

以下、ホームページをご覧ください。
<https://www.mrt.mirait.co.jp/>